



古河市景観 まちづくりニュース

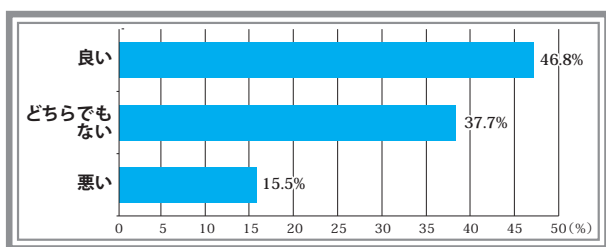
～景観について考えてみましょう～

市では「人・歴史・自然の共演 ふるさと古河の景観舞台づくり」をめざして、まちづくりを進めています。

過去に行った市民アンケートをもとに、市内の景観について、皆さんがどのように感じているか解説していきます。

【問】都市計画課(三和庁舎) ☎76-1511

古河市の景観に対するイメージ



自然と歴史が調和した風景こそ古河市が誇る景観なんですね。

古河市らしい景観が見られる場所は？

第1位 古河公方公園(413人)

第2位 ネーブルパーク(226人)

第3位 雀神社(213人)

第4位 渡良瀬遊水地・渡良瀬川(196人)

第5位 古河歴史博物館(186人)

連載企画② こが古今東西

坂長本店は、古河城の出城界隈に位置する古くからの建物で、国の登録有形文化財に指定されています。江戸時代から両替商、後に酒問屋として栄えた店でしたが、時代とともにその営みに幕が下ろされました。歴史的技法を用いて修復し、現在は複合施設「お休み処 坂長」として街の新たな役目を果たしています。

○改修前



▲江戸時代から大正時代に建築された歴史を感じる店蔵や袖蔵など

○改修後



▲地域の景観を壊さないよう十分に配慮して、改修工事を行いました

◀当時の面影を残しています